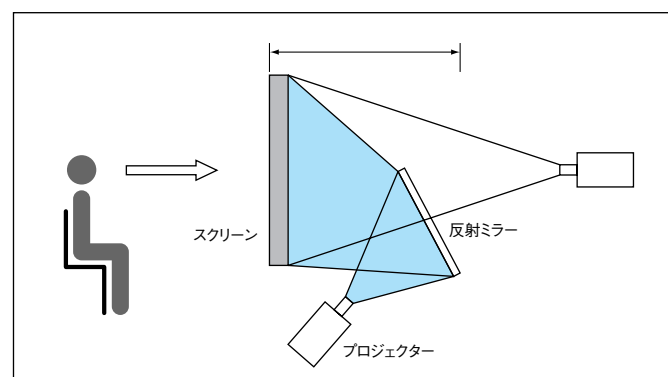


リアシステム

■スクリーンを生かす周辺機器

スクリーンの機能を最大限に引き出すのが、周辺機器です。例えば、透過式の映像システムの場合、スクリーンの背面スペースには、プロジェクターを固定する架台が必要ですが、その設置スペースが確保できない場合、プロジェクターからの出力映像を反射させるミラーを設置する手法があります。そのミラーも「1回反射」「2回反射」にする方法もあります。また、スクリーン、プロジェクター、ミラーをボックスタイプにし、設置スペースを最小にし、しかも、移動が容易にできる「リアプロジェクションボックス」などのような、省スペース、省コストのシステムも開発し、周辺機器をますます充実させています。

このように、KIKUCHIはスクリーンを設置する空間を有効に活用しながら、リアリティのある、明るい映像を実現するための、さまざまな課題を解決する技術の開発に努めています。



■反射ミラー

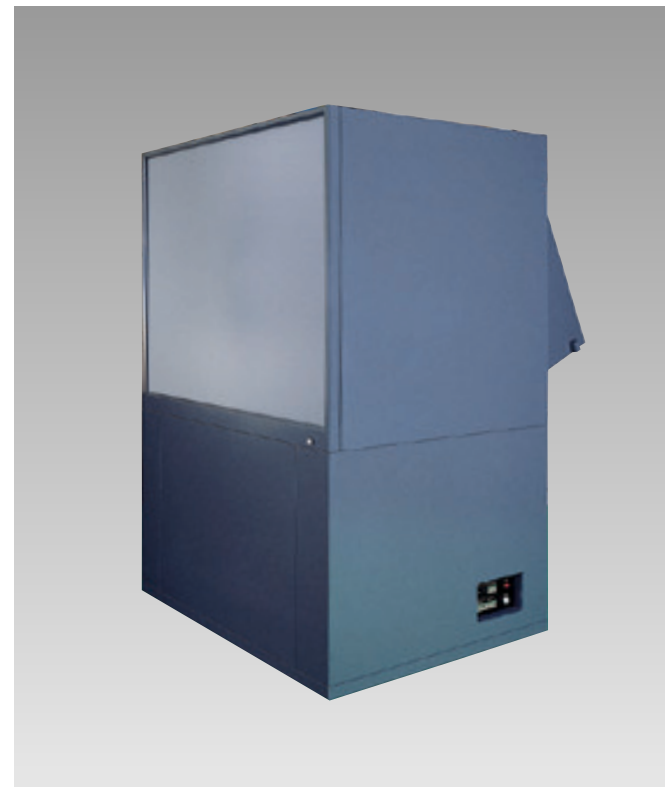
リアスクリーンの場合、投射面から十分に投射距離を確保できない場合があります。その場合、プロジェクターからの映像をガラス表面鏡（アルミ蒸着）またはフィルムミラー（表面銀蒸着）に反射させ、画像を反転させてスクリーンに投影させる方法があります。従来の裏面鏡のような2重像はなく、高い反射率により、高品質映像を映し出すことが可能です。

■VP架台

歪み補正範囲の少ない液晶プロジェクター、LCDプロジェクターはスクリーンに対して正確な設置位置が必要です。スクウェアで高品質なイメージを成立させるため、広範なアジャスト機構を備えています。

■リアプロジェクションボックス

リアスクリーンとプロジェクターをボックスタイプにパッケージしたシステムです。場所を取らず、フリースペースでの使用が可能。ボックスの奥行きサイズにより1回反射、或いは2回反射で投影します。三管式・液晶プロジェクターのどちらでも使用可能。スクリーンはリアハードタイプ/フレネル・レンティキュラータイプから選択できますから、投射目的に合わせた最適な画像が得られます。設置スペースからのサイズ条件・希望スクリーンサイズ・プロジェクター能力・使用条件・設置方法などをヒアリングした後に最適な構造を設計し制作する受注生産方式をとっています。搬入スペースの関係で、組立完成品の納入が不可能な場合は設置場所で組み立て引き渡しも可能です。



周辺機器

■スクリーン設置の基本的考え方

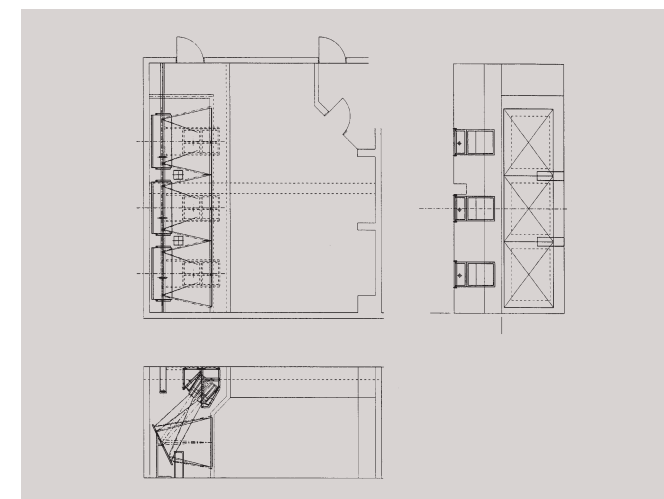
映像をベストの状態で成立させるため、KIKUCHIは周辺機器とシステム構築のノウハウによってそれを可能にしています。その環境に最適なスクリーン・セクションから始まり、常識であるリア・バックルームのブラックアウト化、スクリーンに対する迷光の除去、プロジェクターの正確な設置等、まず、基本をしっかり押さえます。その上で、システムとして一番重要な使い勝手、メンテナンスの問題等、そのシステムが有効に使われ、目的である効果が持続し続ける事を一番のテーマとしています。

■リアプロジェクションシステム

バックヤードが決定的に不足している場合リアプロジェクションシステムで狭い空間でも楽にメンテナンス作業ができるように、スクリーンの背後のプロジェクターを上下、左右にスライドさせ、架台から出し入れできるようにするなど、スペースの有効活用のソリューションシステムも充実させています。



反射ミラー



ソリューション事典

スクリーンのベストインストレーションとベストセクションのためのフォーミュラ 4 (リアシステムと周辺機器)